教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
数学	数学Ⅰ	4	必履修	講義・演習 【習熟度別】	―	▽	再	再	再

学習目標	○高校数学の基礎を学ぶ。 ○基礎的な知識を身に付け、数学的な技能（問題を処理すること）の習熟を図る。 ○事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養う。（筋道を立ててものごとを粘り強く考える力を訓練する。）
主な学習計画	1年間の学習 ○数と式　○2次関数 ○図形と計量　○集合と命題 ○データの分析
教科書 副教材等	104　数研　数Ⅰ716　『新 高校の数学Ⅰ』（数研出版） 『書き込み式シリーズ　ポイントノート数学Ⅰ』（数研出版）
留意事項	○「数学Ⅰ」は卒業までに3単位以上履修しなければならない。 ○習熟度別クラス編成によって授業を進める。 ○「数学Ⅱ」「数学B」を受講する場合、この科目を修得していることが条件となる。 ○令和4年度から教科書が変わったため、それ以前の受講者は教科書等を購入すること。
評価の方法	☑ 出席状況　☑ 授業への取組　☑ 課題等の提出　☑ 定期考査 以上の点を総合的に評価する。
履修条件 セルフチェック	□ 令和7年度新入生、または現在1年次以上で「数学Ⅰ」未履修（または未履修見込み）である。 □ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。
オススメ図書	『黄チャート』（数研出版）

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
数学	数学A	2	学校必登録	講義・演習 【習熟度別】	―	－	◎	－	－

学習目標	○場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 ○事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を身に付ける。（新たな課題の解決に数学を活用していこうとする態度や具体的な事象を数学的に処理するための基礎を身に付ける。）
主な学習計画	1年間の学習 ○場合の数と確率 ○図形の性質　または　○数学と人間の活動 ※単位数の関係ですべてを扱うことが難しいため、生徒の実態等に応じて2つの内容から、適宜選択して履修する。
教科書 副教材等	104　数研　数A715　『最新 数学A』（数研出版） 『書き込み式シリーズ　パラレルノート　数学A』（数研出版）
留意事項	○2年次の学校必登録科目のため、現在1年次の生徒は全員登録。 ○現在2年次以上の生徒は履修登録できません。 ○平面図形の分野では、コンパス、定規を使用します（各自で用意すること）。
評価の方法	☑ 出席状況　☑ 授業への取組　☑ 課題等の提出　☑ 定期考査 以上の点を総合的に評価する。
履修条件 セルフチェック	□ 現在1年次である。（2年次学校必登録科目） □ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。
オススメ図書	『黄チャート』（数研出版）

数学

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
数学	数学Ⅱ	4	自由選択	講義・演習	25	－	○	○	○

学習目標	○「数学Ⅰ」で学んだ知識を基に、さらに進んだ概念・知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養い、それらを活用する態度を身に付ける。（ある課題に関心をもち、その解決に当たって、これまでに学習した知識等を基にして考察を進め、一般的な方略などを見付けて、それを適切に表現する。）
主な学習計画	1年間の学習 ○式と証明　○複素数と方程式 ○図形と方程式　○三角関数 ○指数関数と対数関数　○微分法と積分法
教科書 副教材等	104　数研　数Ⅱ711　『新編　数学Ⅱ』（数研出版） 『書き込み式シリーズ　Study-Up ノート　数学Ⅱ』（数研出版）
留意事項	○「数学Ⅰ」に比べて内容が極めて難しくなるので、「数学Ⅰ」発展クラスのレベルであることが望ましい。 ○「数学A」を修得済み、または同時登録していることが望ましい。さらに、理系進学希望者は今後「数学Ｂ」を履修することが望ましい。 ○令和5年度から教科書が変わったため、それ以前の受講者は教科書等を購入すること。
評価の方法	☑ 出席状況　☑ 授業への取組　☑ 課題等の提出　☑ 定期考査 以上の点を総合的に評価する。
履修条件 セルフチェック	□ 現在1年次以上で、「数学Ⅰ」を修得済み（または見込み）である。 □ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。
オススメ図書	『黄チャート』（数研出版）

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
数学	数学B	2	自由選択	講義・演習	25	－	－	○	○

学習目標	○統計的な推測と数列について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。 ○事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を身に付ける。（ある課題に関心をもち、その解決に当たって、これまで学習した知識等を基にして一般的な方略などを見いだし、それを用いて適切に処理するとともに、数学的によりよく表現する。）
主な学習計画	1年間の学習 ○数列 ○統計的な推測　または　○数学と社会生活 ※単位数の関係ですべてを扱うことが難しいため、生徒の実態等に応じて2つの内容から、適宜選択して履修する。
教科書 副教材等	104　数研　数B712　『新編　数学B』（数研出版） 『書き込み式シリーズ　Study-Up ノート　数学Ｂ』（数研出版）
留意事項	○「数学Ⅰ」に比べて内容が極めて難しくなるので、「数学Ⅰ」発展クラスのレベルであることが望ましい。 ○「数学A」「数学Ⅱ」を修得済み（または見込み）であることが望ましい。 ○理系進学希望者向けの科目である。 ○令和6年度から教科書が変わったため、それ以前の受講者は教科書等を購入すること。
評価の方法	☑ 出席状況　☑ 授業への取組　☑ 課題等の提出　☑ 定期考査 以上の点を総合的に評価する。
履修条件 セルフチェック	□ 現在2年次以上で、「数学Ⅰ」を修得済み（または見込み）である。 □ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。
オススメ図書	『黄チャート』（数研出版）